

農林水産・建設委員長報告(概要)

承認1件を承認、議案4件を原案可決、認定1件を認定

村哲康
委員長

中村哲康
委員長

【議案第42号】財産の取得について（市道谷川清水線浸水対策排水ポンプ購入）

【質疑】設置場所は潮溜まりの中か。そこから直結して大手川に流すのか。

【答弁】大手川の右岸側、旧北有馬駅側のほうに潮溜まりがあり、そこから大手川に強制排水をして旧北有馬駅周辺の浸水対策、市道並び冠水箇所の対策をするために設置するものである。

【質疑】管理の方法はどうするのか。

【答弁】管理については、地域の方と相談して管理をお願いしていこうという計画である。通常のメンテナンスは、業者と市が契約を結んで行っていく。

【質疑】これは今まであった施設のポンプが悪くなったので、新しく替えたいということなのか。

【答弁】今までこういうポンプはなかった。近年の潮位の上昇と短時間の降雨量の増加で道路の冠水、住宅地の浸水の対策を行うためのものである。

【質疑】今回は、購入だけだが、設置や工事等の費用は要らないのか。

【答弁】ポンプには牽引式の車輪がついており、設置の費用等は、今回の購入に含めた分になっている。

【議案第43号】市道の路線変更について

【質疑】水道と道路を同時進行ということだが、それはスムーズにいくのか。

【答弁】市と県と農協と協議をして、現在のところは、計画どおりに進んでいる。

【質疑】二度手間がかかったり、やり直したりしなければならぬということか。

【答弁】一回仕上げた道路をまた掘り返して工事しなくていいように、きちんとしてもらいたい。

【質疑】今、県のほうで、この埋立地内も含めて道路の詳細設計をやっているところである。その設計が終わると道路の工事に入るが、道路が完成した後で設計を発注すると、遅れが生じるということ、先水道の設計をお願いしているところだろうと解釈している。

【質疑】そこは農協に売却する予定地だが、道路を

造ったときに、またやり直さなくてもいいようになっていっているのか。

【答弁】道路の線形が出た時点で水道を入れて、その後また道路で舗装をかけるというように、建設部とも、常に打ち合わせをしている。



堂崎港埋立地

【議案第44号】令和3年度南島原市一般会計補正予算（第8号）

（環境水道部関係）

【質疑】配管の内容としては、1か所に持つてきて、あとはその使用する人たちが、そこから引くのか。全体的な構想があつて、その分をその近くまで全部配水して、本管をしておくのか。

【答弁】今回の設計業務委託は、開発行為に伴う部分であり、その開発行為が、布津寄り側の開発行為ということで、そこに

関する部分のみの水道管布設の設計業務委託ということになる。配管自体は、有家の堂崎小学校の上り口のところから分岐して、堂崎港のほうに引込んで、そして、布津寄りのほうに持っていくための設計業務委託である。

【質疑】そこは農協に売却する予定地だが、道路を

造ったときに、またやり直さなくてもいいようになっていっているのか。

【答弁】道路の線形が出た時点で水道を入れて、その後また道路で舗装をかけるというように、建設部とも、常に打ち合わせをしている。

【その他の付託案件】

【承認第6号】専決処分の承認を求めることにつ

いて（令和3年度南島原市一般会計補正予算（第7号））

【議案第46号】令和3年度南島原市水道事業会計補正予算（第1号）

【認定第5号】令和2年度南島原市水道事業会計決算の認定について

【認定第6号】令和2年度南島原市下水道事業会計決算の認定について

【承認第6号】専決処分の承認を求めることにつ

いて（令和3年度南島原市一般会計補正予算（第7号））

